

# JOBURG EXPRESS

3月 発行 No.11

ヨハネスブルグ日本人学校 中島緑郎

夏休みは北半球へ。エジプトを訪ねました。その 1



北海道では1月20日あたりが始業式。お正月をのんびりと過ごしてから宿題を始めても十分間に合う感じですが、こちらでは新年早々の3学期です。みんなはどんなふうに過ごしましたか？

さて、私はかねてからの願いであった『ピラミッドに触る』『エジプト考古学博物館でツタンカーメンの秘宝を見る』を実現する旅にでかけました。

こちらの年末は夏休み。夏になると南部アフリカ一帯（南アフリカ共和国の一部も含む）はマラリアの汚染地域となり、予防措置がちょっと面倒になります。副作用の強い薬を飲まなければならないのは子どもたちにはちょっと大

変かも…ということで、北半球にでかけることにしたのです。

エジプトは人間の歴史にとって非常に重要な土地です。TVや本でさんざん見られるピラミッドですが、やっぱり実物は全く迫力が違いました。4000年も前にあれだけのものを作るなんて、人間の英知って本当にすごいですね。



市内を流れるナイル川に2つの中洲があります。そのうちのケジューラ島にあるカイロタワーから見たカイロ市内のながめです。こちらは下流方向になります。

カイロは高層ビルが並ぶ近代的な都市ですが、ほこりと排気ガスと砂でいつもぼんやりと煙っていました。エジプト人は日本人が好きらしく、どこでも日本人だというとすぐ優しくしてくれました。買い物で値段交渉(アラブ世界では当たり前)をしないで素直に払うから??



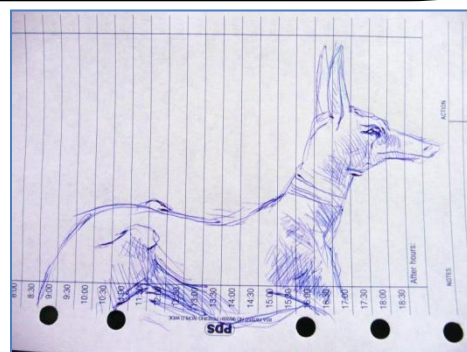


カイロ市内にある『ハン・ハリーリ』というバザールに出かけました。観光客向けのお土産屋さんが並ぶところから奥に入ると、日用雑貨が所せましと並んだ現地人御用達の路地になります。…ゴミをそのまま路上に捨ててるところ、物売りが延々数百mもしつこく追いかけてくるのには、ちょっと閉口。

ナイル川では水上タクシーで遊覧。隅田川の屋形船といった風情だが、でかいスピーカーからガンガン曲が流れる。…船に乗ってるのに『タイタニックのテーマ』はないだろ! 沈むぞ。



秘宝の中で一番よかったのは山犬の姿の冥界の神・アヌビスの像。写真がダメなので大急ぎでスケッチ。



これがツタンカーメン王の黄金のマスク。ついに実物を見ることができました!! ここまで素晴らしいとは思いませんでした。カメラ持ち込み禁止だったけど、携帯でパチリ。係の人もおとがめなし。

黄金のマスク以外にも、黄金の玉座とかカーの立像とか、本当にため息のでる展示物ばかりでした。でも、ツタンカーメン王の時代でさえピラミッドができてからすでに 2000 年たっていたというんだから、これまたビックリ。